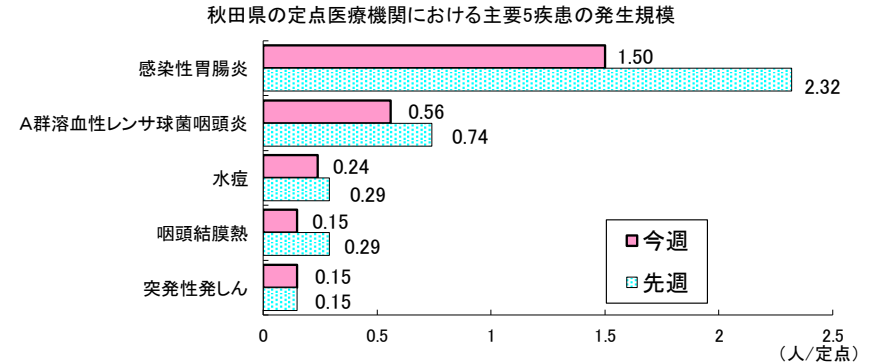




【第52週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で35%減少しています。保健所別では、大仙で増加、秋田市、大館、北秋田、能代、秋田中央、横手、湯沢で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で24%減少しています。保健所別では、由利本荘、大仙、湯沢で増加、秋田市で同規模、大館、秋田中央、横手で減少しています。
3. 水痘は、県全体で17%減少しています。保健所別では、能代、大仙で増加、秋田市、大館、秋田中央で減少しています。



発生報告

< 5類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第51週	第52週	増減	第51週	第52週	増減	第51週	第52週	増減	第51週	第52週	増減	第51週	第52週	増減	第51週	第52週	増減	第51週	第52週	増減	第51週	第52週	増減	第51週	第52週	増減			
RSウイルス感染症	0.09		↘							1.50		↘																		
インフルエンザ		0.02	↗											0.25	↗															
咽頭結膜熱	0.29	0.15	↘	0.29	0.57	↗	0.75		↘							0.25	↘	0.75		↘				0.33	0.33					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.74	0.56	↘	0.29	0.29		2.50	0.50	↘				1.00	0.75	↘	0.25	↗	1.50	2.00	↗	0.33		↘	0.67	1.00	↗				
感染性胃腸炎	2.32	1.50	↘	4.43	3.14	↘	1.75	0.25	↘	2.00	1.00	↘	3.00	2.00	↘	1.25	1.00	↘			2.25	3.25	↗	2.67	0.67	↘	2.00	0.33	↘	
水痘	0.29	0.24	↘	0.57	0.14	↘	0.75	0.25	↘				0.33	1.33	↗	0.25		↘			0.25	0.50	↗							
手足口病	0.12	0.03	↘	0.14		↘	0.25		↘							0.25		↘	0.25	0.25										
伝染性紅斑																														
突発性発しん	0.15	0.15		0.29		↘		0.25	↗		0.50	↗	0.33		↘				0.25		↘			0.33	1.00	↗				
ヘルパンギーナ																														
流行性耳下腺炎	0.06		↘													0.50		↘												
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*								*	*				
流行性角結膜炎	0.43		↘	0.67		↘				*	*		*	*		*	*							1.00		↘	*	*		
細菌性髄膜炎		0.13	↗																			1.00	↗							
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎																*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「\*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が秋田市保健所管内から2人、報告されました。
- ・五類感染症の百日咳が北秋田保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-51週		52週	
		全国	秋田	秋田	
一類	エボラ出血熱				
	クリミア・コンゴ出血熱				
	痘そう				
	南米出血熱				
	ペスト				
	マールブルグ病				
	ラッサ熱				
	急性灰白髄炎				
二類	結核	15630	67	1	
	ジフテリア				
	重症急性呼吸器症候群				
	中東呼吸器症候群				
	鳥インフルエンザ(H5N1)				
	鳥インフルエンザ(H7N9)				
	三類	コレラ			
		細菌性赤痢	7		
		腸管出血性大腸菌感染症	3185	22	2
		腸チフス	3		
四類	パラチフス				
	E型肝炎	447			
	ウエストナイル熱				
	A型肝炎	69			
	エキノコックス症	23			
	黄熱				
	オウム病	8			
	オムスク出血熱				
	回帰熱	10			
	キャサナル森林病				
	Q熱	1			
	狂犬病				
	コクシジオイデス症				
	サル痘				
	ジカウイルス感染症				
	重症熱性血小板減少症候群	109			
	腎症候性出血熱				
	西部ウマ脳炎				
	ダニ媒介脳炎				
	炭疽				

(人)

類型	疾患名	1週-51週		52週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	518	3	
	デング熱	7		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニバウイルス感染症			
	日本紅斑熱	486		
	日本脳炎	3		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	5		
	マラリア	28		
	野兔病			
	ライム病	23		
	リッサウイルス感染症			
	リフトバレー熱			
	類鼻疽			
	レジオネラ症	2087	22	
レプトスピラ症	33			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	522	2	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	199	3	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2009	30	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	21		
	急性脳炎	329		
	クリプトスポリジウム症	5		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	178	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	634	4	
	後天性免疫不全症候群	1032	2	
	ジアルジア症	36		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	191	1	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1		
	侵襲性肺炎球菌感染症	1365	9	
	水痘(入院例に限る)	294	6	
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	7790	39	
	播種性クリプトコックス症	157		
	破傷風	91		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	123		
百日咳	725	7	1	
風しん	12			
麻しん	6			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	5			
* 新型コロナウイルス感染症		1785		

\* 新型コロナウイルス感染症

トピック

<手洗いをしましょう>

感染症の予防において、手洗いはとても重要です(表)。生活の中で、ドアノブなど様々なものに触れることにより、手には細菌やウイルスといった病原体が付着する可能性があります。ていねいな手洗いにより付着した病原体を落とすことができます。帰宅時や調理の前後、食事の前などこまめに手洗いをしましょう。

■手洗いの手順

爪は短く切っておき、手洗いの際は時計や指輪をはずし、次の手順で洗います(図)。

- ① 流水でよくぬらした後、ハンドソープをつけ、手のひらをよくこする。
- ② 手の甲を伸ばすようにこする。
- ③ 指先・爪の間を念入りにこする。
- ④ 指の間を洗う。
- ⑤ 親指と手のひらをねじり洗います。
- ⑥ 手首も忘れずに洗う。

ここまで洗ったら十分な流水でハンドソープを洗い流し、最後に清潔なタオルやペーパータオルでよく拭いて乾燥させましょう。タオルなどは共用しないようにしましょう。

表 手洗いの時間・回数による効果

手洗いの方法	残存ウイルス(残存率*)
手洗いなし	約100万個
流水で15秒手洗い	約1万個(約1%)
ハンドソープで10秒または30秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎ	数100個(約0.01%)
ハンドソープで60秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎ	数10個(約0.001%)
ハンドソープで10秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎを2回繰り返す	約数個(約0.0001%)

\*: 手洗いなしと比較した場合

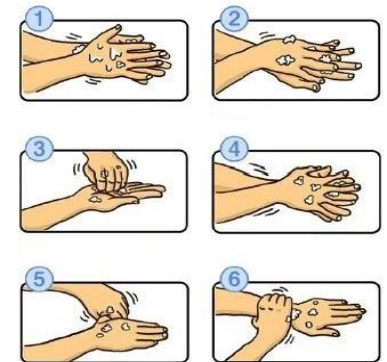


図 手洗いの正しい手順  
(参考)厚生労働省監修  
「マメに正しい手の洗い方」

(参考)厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11130500-Shokuhinanzenu/0000105095.pdf



**【注意報・警報の発生状況】**

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
水痘	能代(1.33)	-

■ 注意報・警報の定義

**【注意報・警報の定義】**

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		